
クリスマス・エアー・デート

皿尾 りお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クリスマス・エアー・デート

【Nコード】

N2884D

【作者名】

皿尾 りお

【あらすじ】

悲しき男のクリスマス。エアー彼女とのエアーセックスで彼は逝けるのか！？

（前書き）

クリスマスに一人のあなたへ

エアー彼女とは、2ヶ月前に付き合い始めたばかり。
まだ、キスまでの関係です。

ドキドキのクリスマスです。

待ち合わせは、幸せそうな顔のカップルでこった返す駅前。
彼女を待つ僕の顔もハニかんでいます。

街の大時計を見ると、もう7時を過ぎている・・・

遅いな・・・携帯にも連絡はないし・・・

どうしたんだろう・・・

周りを見渡す、僕。

・・・あ、見つけた！

今日は、いつにもまして、お洒落をしているな。

胸がキュンとなるよ。

彼女の後ろから、そっと、近づき、彼女の右の肩を「ポンポン」と叩く。

（もちろん、エアーポンポン）

（周りのカップルは、いぶかしげに見ている）

（僕は、そんなの気にしない）

右後ろを向く彼女。・・・誰も居ない・・・

おかしいなと思いい前を向くと、

「やあ。遅かったね。」と笑顔で言う僕。

彼女は、「もう！」と、ビックリしたような、でも、
嬉しそうな笑顔。

僕の笑顔も更に笑顔になるよ。

（もちろん、街中で一人でニヤニヤ。どこからか、「警察よんだほ

うが・・・」

と聞こえる。でも、クリスマスだから、誰も警察は呼ばない。」

僕と彼女は、予約していたレストランに着いた。

「お連れ様が、着いてから、始めさせて良いですか？」

・・・と、わけのわからない事を言うウエイター。

僕は？と言う顔で、

「もう、始めてください。」

と真顔でいう。

二人分の、料理が運ばれてくるテーブル。

僕は、

「じゃあ、初めてのクリスマスに乾杯！」

と、ワイングラスをカチャリと合わせた。

食事を進めながら、この2ヶ月間を二人で語り合う。

（周りはやっぱり気にしない）

食事も終わり、彼女が、

「この後、どうするの？」

と聞いてきた。

（二人分の食事でお腹が、満腹だ）

僕はドキドキしながら、こう言った。

「・・・い、家に、ケーキを用意しているんだ。」

彼女は、小さく、うつむくように、コクンっとうなづいた。

彼女と僕は、僕の住んでいる、マンションに向かう。

二人とも、言葉、少なめだ。

「着いたよ。ここだよ。来るのは初めてだね。」

コクンっとうなづく彼女。

部屋に入ると、ケーキに火を灯し、シャンパンで乾杯をする。
彼女の肌は、少し、火照っているようで、ほんのり赤い・

そして、しばらく二人で、話をしていると急に沈黙がおとづれた。
・・・すると、彼女はポツリと

「天使が通ったね。」
と、ニコつと笑った。

僕はたまらず、彼女をギュツと抱き寄せ、そつとキスをする・・・
そして、そのまま、ベッドへ・・・

僕は泣きながら、誰も居ないベッドの上で腰を
振り続ける。

何度も何度も。

涙は、止まらない・・・

精神安定剤を飲み始めてから、初めて流す涙だった。

部屋には、もう、僕には笑いかけてくれない、彼女の遺影が・・・
付き合い始めて一ヶ月目、事故だった。

初めてキスをしたその帰り道の事故だった。

僕は、永遠に腰を振り続けた・・・
いつか、逝けるその日まで・・・

完

(後書き)

私も一人だよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2884d/>

クリスマス・エアー・デート

2010年11月19日17時34分発行